

お知らせ

7月の活動日

日 時：7月18日(月・休) 9時30分 県民の森駐車場集合

活動内容：照度調査、ホテイ竹林環境整備、植物調査、野鳥調査など

照度調査の終了後、水辺に落ちそうな枯竹・伐採竹の処理などを中心にホテイ岬周辺の整備に取り組みます。ナタ、のこぎり、汗対策などをお忘れなく。

活動の記録

6月19日(日) 曇

新井孝雄・新井通子・安藤・伊藤・鶴沢・大賀・加藤・久我夫妻・栗山・小又・坂本・福島・真鍋・村野・森・山口 17名

○シカ個体数調査

いつものように、橋の手前で踏査ルートごとの分担を決め、10時から一斉に踏査をスタートした。残念ながら、今回の調査でもシカの確認はなかった。痕跡としては、比較的新しいものとして、マダケ林のタケノコの食痕、また、調査時間外であったが、植物調査時に新しい足跡を北側の水辺付近で確認した。もしかすると、シカも人間に慣れてきてうまく調査者をかわしているのかも…(福島)

○水辺清掃

水辺清掃は、ホテイ岬、シカシ林下の入り江、八幡橋のたもとの3箇所に分かれて実施した。年々ゴミは減っているが集めてみるとかなりの量でした。ゴミは新井会員が、清掃事務所まで持ち込んでくれました。新井さんありがとうございました。(伊藤)

豊英島の清掃活動お疲れ様でした。ゴミは、君津市清掃事務所に、市民等の散乱ごみ清掃活動の一環としての「公共ごみ」として受理してもらい、処理料金は無料でした。

不燃ごみ2袋、可燃ごみ4袋 計量の結果、計20キログラムでした。豊英島周辺も最近は大分きれいになりましたね。今回の清掃で、しばらくは気持ちよく活動できると思います。(新井)

○ツチアケビの保護

5月に金網で保護したツチアケビは、島入口近くで4株、千年広場南で4株見事に開花、ホテイ岬の1株は黒く変色して枯死、他の1株も変色、原因はナラタケからの栄養補給が途絶えたのか？他の原因か不明です。

昨年のように金網の裾から侵入して食べられないよう、U字杭で裾を固定してガードしました。今年もウィンナーソーセージ状の実を期待しつつ。(真鍋)

○植物調査

午後から植物班(4名)は広場～吊り橋～橋の西側斜面の植物調査を行い、キヨスミギボウシ(と推定)(蕾3株)、コセリバオウレン(8株位)を確認しました。(栗山)



シカの食害にあったマダケのタケノコ



集めたゴミと記念写真



ツチアケビ



満開のヤマボウシ

○トビの巣立ち

午後1時30分ごろ、巣には雛が一羽おり、周辺で親鳥が巣立ちを促すかのように、繰り返し鳴いていた。その5分後、親鳥と雛の2羽が巣にいた(写真)。2時30分ごろには、雛は巣の脇の枝に止まっており、その後(22日)には、巣が空っぽ(坂本文)とのことなので、今年も無事トビは巣立ったものと思われる。(伊藤)

○食害調査

植物調査に併せて広場から島入口までの通路わきと、湖に面した北斜面の食害調査を行いました。特にアオキ、イヌツゲ、スズタケ、スゲ類の食害が目立ちました。調査結果は昨年までのデータに追加します。(真鍋)

○マダケ保護柵とシイタケホダ場補修

マダケ保護柵は、設置後長年経過し、資材が劣化して竹が折れていました。皆で協力して復旧したので、鹿の侵入は防げそうです。

マダケ林脇のシイタケホダ場は、保護網の中にタケノコが発芽して成長したのを、鹿が食べるのにかなりの力を与えた様で、ホダ木がばらばらに転倒していました。頑丈な横棒を取り付け、ホダ木を天地返して設置したので来春の収穫が期待されます。(久我)

6月22日(水) 晴

坂本文雄会員は野鳥調査などのため豊英島を訪れ、事故死したテンを発見しました。

○テン事故死

島に出入りして度々無人カメラに写っていたテンは交通事故死した模様です。22日午前7時頃鎌田屋さんの前の国道を通過した時に道路脇にテンの死体を発見しました。トビか変な所から飛び立ったので、何だろうと思ったのが発見のきっかけです。

写真でも分かる通り、後右足の先が欠損している身体的な特徴があります。無人カメラの古い画像を再確認したところ同じ特徴を持つ個体が写っていたので、この個体と同一と思われます。

死体は県立中央博物館の落合博士に届けました。博物館でもテンの標本は少ないそうです。博士によれば頭蓋骨が割れているので交通事故死だろうと言う事でした。尚、豊英島に出入りのテンの写真には両足が完全な個体もいますので、複数が入りしていた事になります。(坂本)

○野鳥調査

カワウ4 カルガモ声 トビ2+声 サシバ声 ホトギス囀り カワセミ声 コゲラ1+声 ヒヨドリ声 ウグイス囀り
 エナガ4+声 ヤマガラ声 シジュウカラ声+囀り メジロ声+囀り ホオジロ囀り カワラヒワ声 カケス声
 ハシボソガラス2 ハシブトガラス声 18種

トビの営巣木を覗きました。先月まで雛は3羽いましたが、既に巣立ってしまい空っぽでした。

ホトギスが盛んに鳴いていて初夏らしい雰囲気を醸していました。

			
巣立ち直前のトビの親子	シカ保護柵の補修	死体で発見されたテン	同一個体のセンサー写真 (後右足の先が欠損の特徴)

○スカイドライブの写真アルバム

掲載写真の原板、会報誌には載せきれない興味深い写真がスカイドライブにはたくさんあります。ぜひご覧ください。またお手持ちの写真をぜひスカイドライブアップしてください。

 セブン-イレブンみどりの基金 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団	この活動は 2011 年度一般財団法人セブン-イレブン記念財団の 公募助成を受けています
---	---